
「学生とシニアの対話会」 事後アンケート結果
(2023年1月9日開催)

纏め：山崎 智英

*参加者（アンケート回収数19）

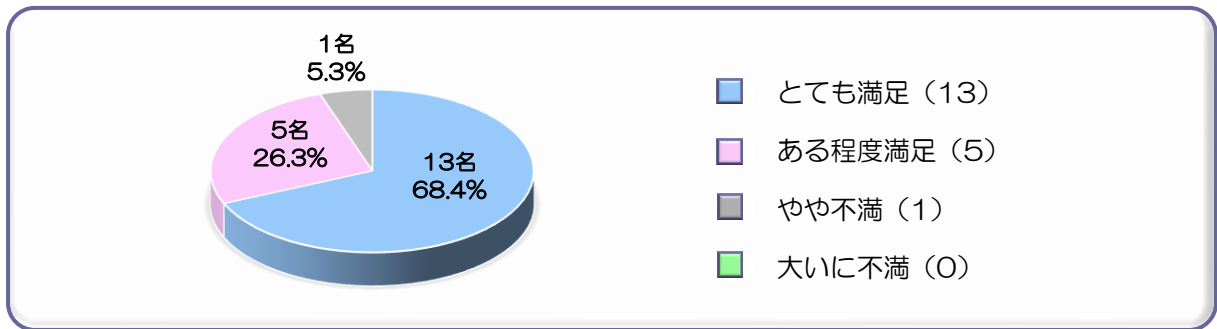
(内訳) 理系（生産デザイン工学科） 専攻科1年19名

< 希望進路 >

進 学	7 名
就 職	11 名
未 定	1 名

➤ 講演、対話について

(1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？



[とても満足]

- ・今まで関連付けて考えたことのない新幹線と絡めた話でとても面白かった。
- ・新幹線と原子力発電所という全く異なるような2つを比較していたので面白い内容だった。
- ・新幹線と原子力について詳しく知ることができた。
- ・原子力と新幹線を結び付けた話題でとても面白かった。
- ・新幹線と原子力の比較という珍しい視点での講演であった。
- ・身近な新幹線に絡めた講義のおかげで、非常に理解しやすく原子力発電のことをより他人事ではないと思えるようになった気がする。
- ・内容がとても分かりやすく理解しやすかった。
- ・もともとエネルギーの話に興味があった。
- ・原子力発電所で行われている方法などを知ることができた。
- ・メディアでは聞けない原発に関することを聞くことができた。

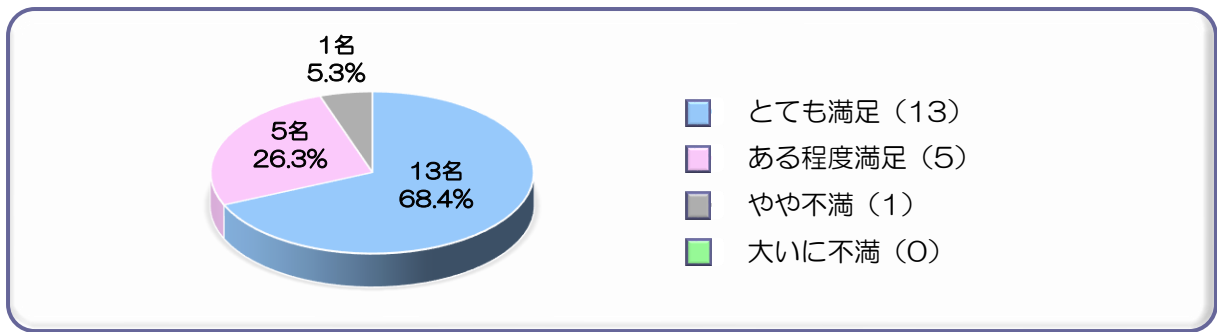
[ある程度満足]

- ・原子力と新幹線を比較するという斬新なテーマで興味深かった。
- ・新幹線と原子力発電所の関連性という自分では考えたことのない面白い視点の講演だった。
- ・視点が面白かった。

[やや不満]

- ・休みの日ではなく、授業中にオンラインでやってほしかった。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



[とても満足]

- ・ただ講義を聞くだけではどうしても理解しきれない詳細な部分まで聞くことができた。
- ・自身ではない視点からの意見と関連事項についても意見をいただけた。
- ・実際に現場で体験できた話を聞くことができた。
- ・原子力について詳しい対話をすることができた。
- ・自分が疑問に思っていたことの質問も回答していただき、また、シニアの考えていることなども聞くことができたので良かった。
- ・実際に原子力関係の仕事をしている方たちの貴重な話を聞くことができた。
- ・終始、和やかな空気で対話でき質問がしやすかった。
- ・質問に対する答えも学生が納得できるまで説明を聞くことができた。
- ・原子力の近くにいる人でないと、なかなか知ることができないことについても教えてもらえた。
(技術輸入や事故の背景など)
- ・私たちでもわかりやすい説明で理解が深まった。
- ・対話の流れをあらかじめ教えてほしかったとは思いましたが、対話自体はとても良い経験になりました。

[ある程度満足]

- ・シニアの方々是世界の情勢などを知っていてすごいと思った。
- ・シニアの方たちの考えを良く知ることができた。
- ・社会情勢や進路についても話すことができた。
- ・話をたくさん聞くことができて良かった。しかし、発表を今日する必要があるのかなと感じました。その時間を対話の時間に割けないのかなと感じました。

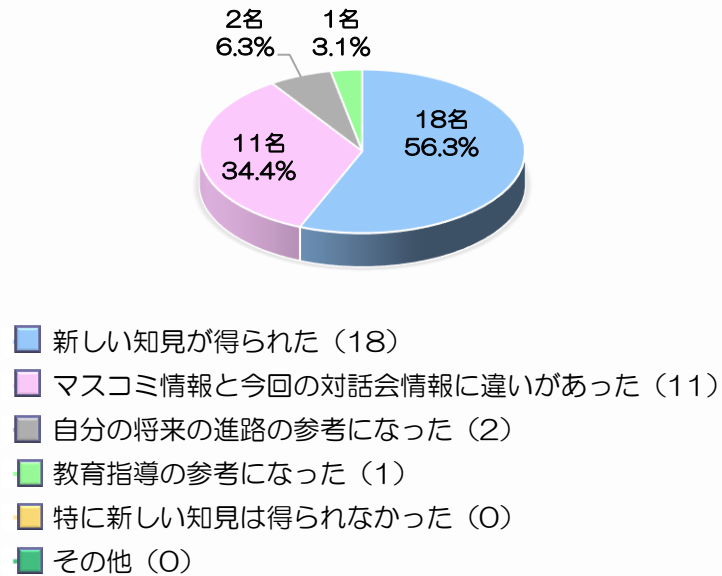
[やや不満]

- ・時間がかかりすぎた。

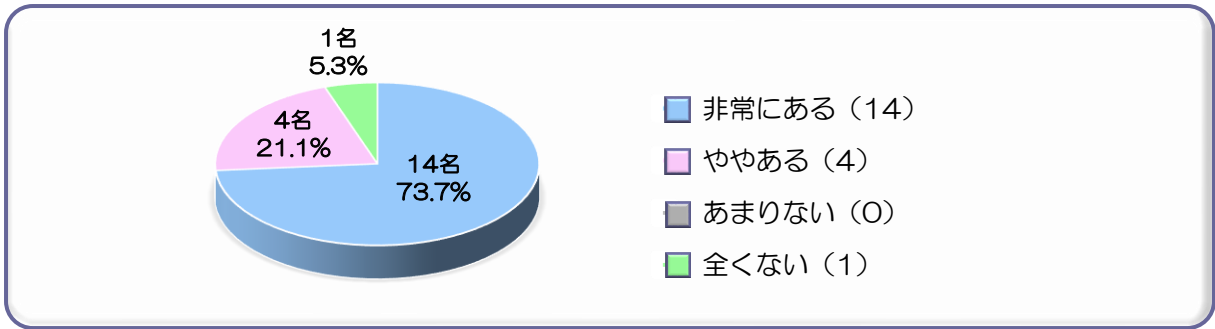
(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）



(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



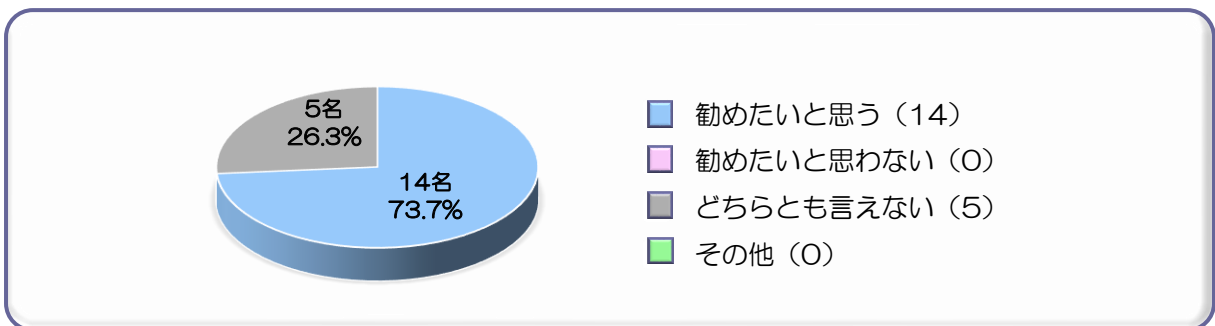
[非常にある]

- ・いろいろな考え方を聞ける。
- ・考え方や知識が深まるいい機会であるため。
- ・普段はめったに関わる事のない専門家、世代の方と関わるいい機会。
- ・専門家の意見は説得力があるから。
- ・専門家の意見を聞ける貴重な機会だから。
- ・経験、意見の幅が違うなと思いました。

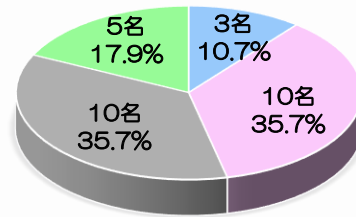
[ややある]

- ・専門外の知識を得ることができるため。
- ・シニアの方々と話せる機会はそんなになく、貴重な経験になるから。
- ・シニアの方々の経験や専門知識に触れることができるから。

(6) 今後、機会があれば友人や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？



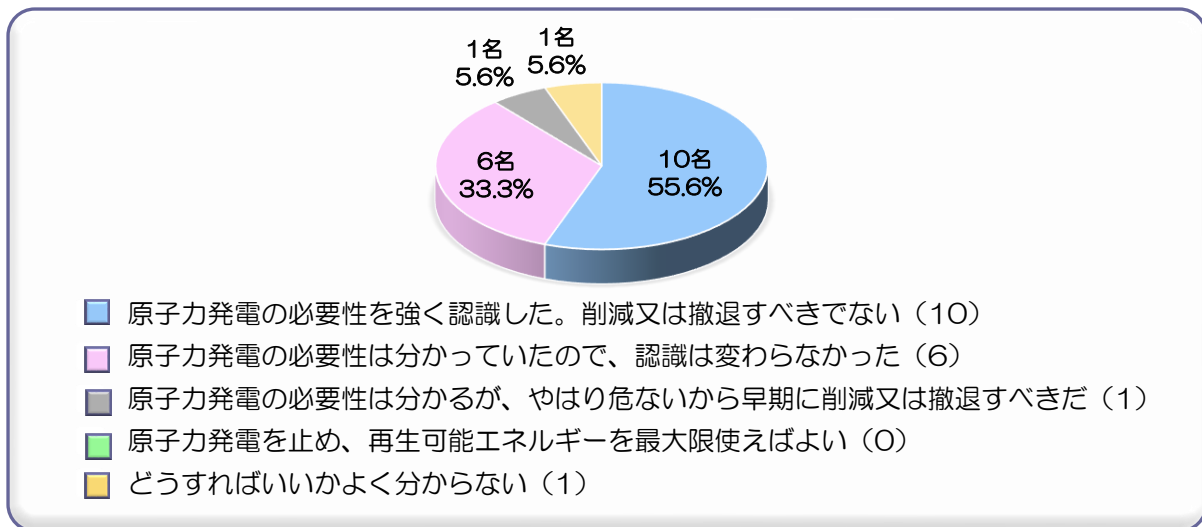
➤ 放射線、放射能に対して伺います。（複数回答も可）



- 放射線、放射能はやはり怖い（3）
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた（10）
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた（10）
- 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた（5）

➤ 原子力発電に対して伺います。

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえたあなたの認識は次のどれですか？その理由は？



[原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- ・不景気な状況で手段を選択している時間は無いと思う。早急に進める必要があり、撤退すべきではないと思う。
- ・その他の方法では今のところ有用な発電方法が存在しないため。
- ・原子力を進化する必要があるが、すぐに削減すべきとは思わない。
- ・再生可能エネルギーや火力だけでは電力を賄うことができず、再生可能エネルギーを火力発電と原子力が1/3ずつであるのが理想だと知ったから。
- ・再生可能エネルギーの活用には限界があるため。
- ・原子力発電なしは、現実的ではないと思っているから。
- ・原子力がないと国の電力はまかなえないし、条件をクリアした安全なものだけを使っているの、今後も取り入れていくべき。

[原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった]

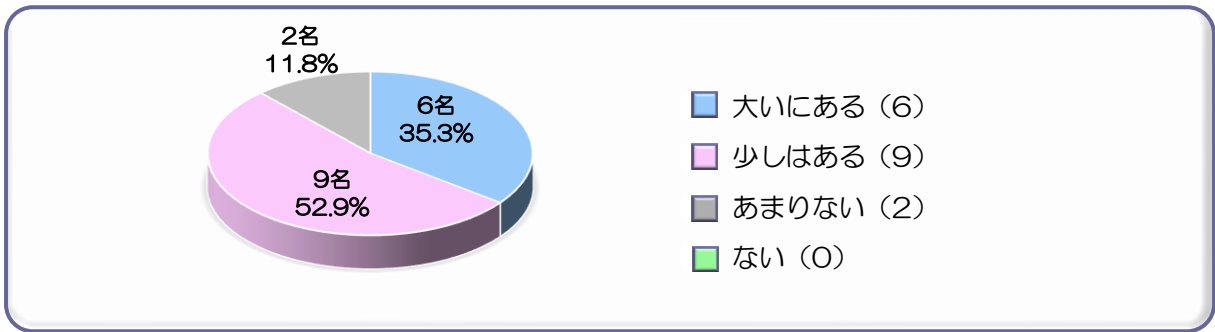
- ・もともと原子力発電は使っていくべきと思っていたから。より新しい知識を持つことができた。
- ・CO2との関連かどうかは定かではないが、異常気象が多発しているため、カーボンニュートラルと直近の課題であると感じた。
- ・以前までの出前授業のおかげで、原子力発電の必要性は理解していた。したがって、反対はしないが、怖さは残っているので賛同するかどうかは今後の技術による。

[どうすればいいのかわからない]

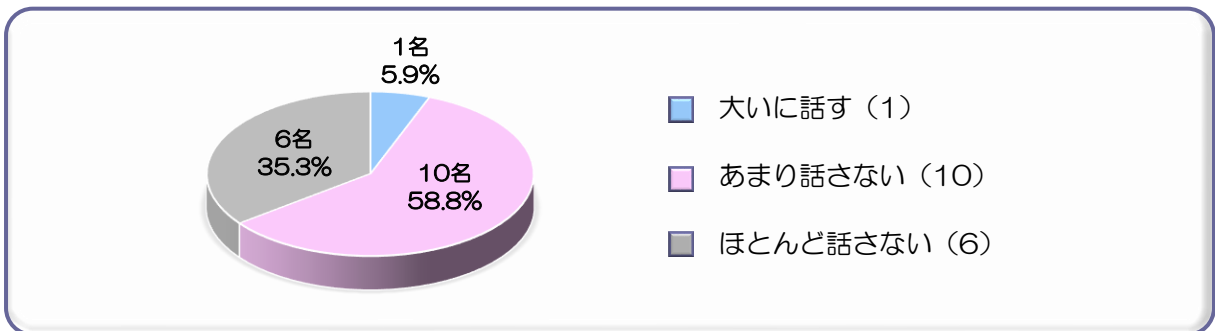
- ・原子力発電の重要性や火力発電のデメリットもよく分かったため原子力発電は必要だと思う。しかし、放射線のリスクなども考えると使いたくないというのが本音である。

➤ カーボンニュートラル（脱炭素）について

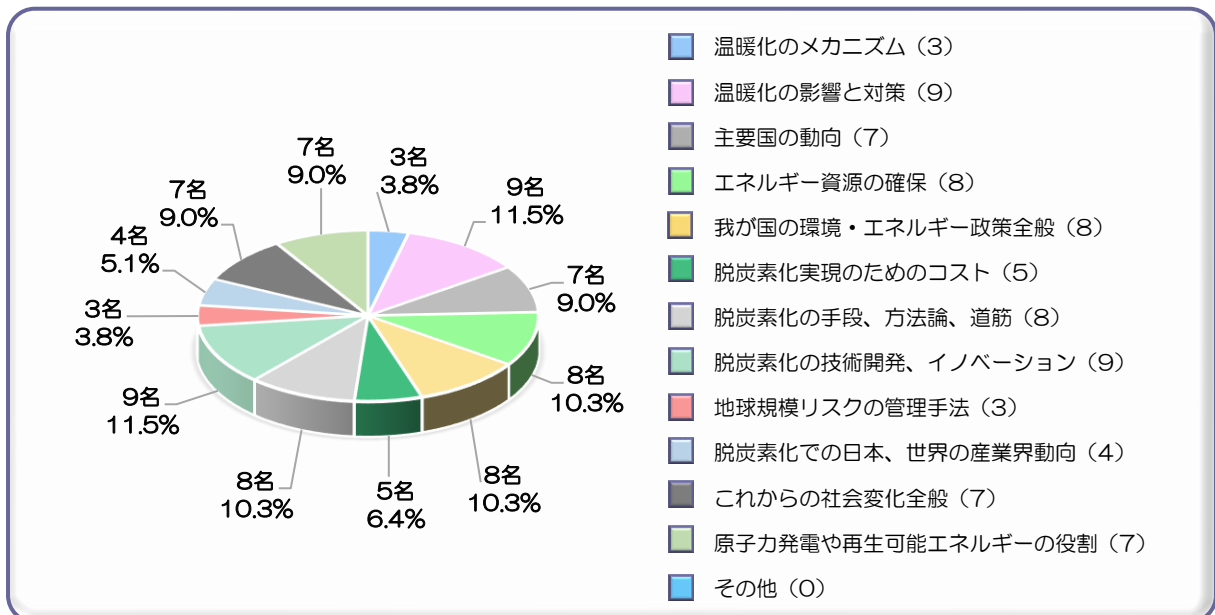
(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？



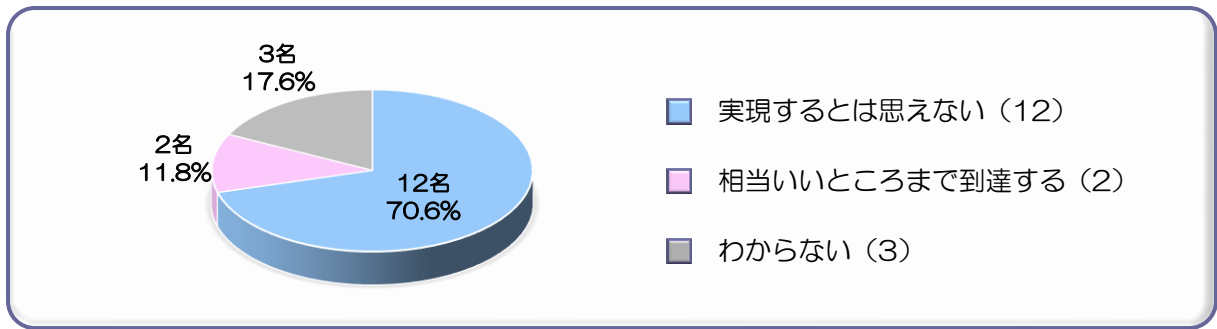
(2) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？



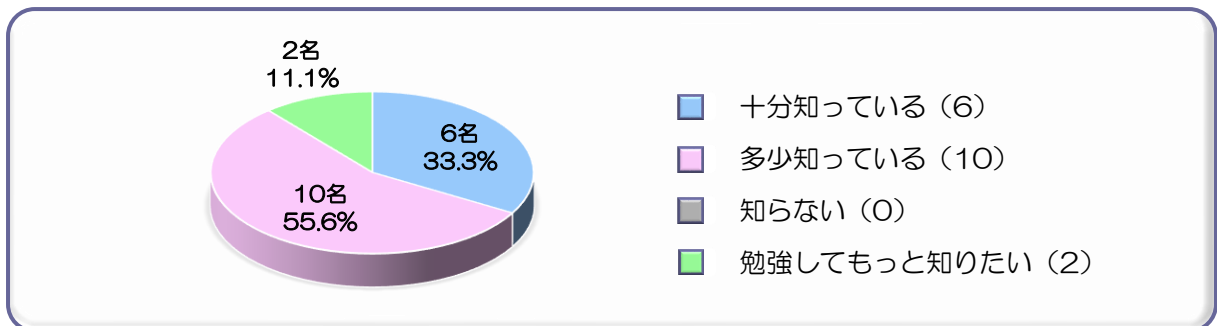
(3) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）



(4) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について見解をお尋ねします。



(5) 地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。



➤ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・とても楽しく、おもしろい講義でした。ありがとうございました。
- ・知らないことを知ることができたので面白かった。
- ・何を聞いても納得できる答えが返ってきて、知見が広まった。
- ・社会で働いてきた方の話を聴くことはよいと思った。
- ・時間を割いていただきありがとうございます。
- ・大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ・対話会で福島での体験を目に涙を浮かべて話されているのを見て、現地の人々の大変さと仕事に対する責任感を強く感じた。
- ・また参加したいと強く感じた。
- ・より深い知識が得られた貴重な体験でした。私は、再エネ（特に太陽光発電）に関する研究をしているので、今回の体験を生かしたいと思います。
- ・一部不適切な発言があったので注意していただきたい。

以 上